



防災における大学生の役割

チームA2

メンバー

- ・c119257A 若山 奈月
- ・c1192362 村田 健太
- ・c1201463 須賀 来
- ・c1192379 森 辰弘
- ・c1191606 関根 暢治



目次

- ・課題
- ・背景(1)
- ・背景(2)
- ・酒田での災害一覧
- ・解決策
- ・サークル活動について
- ・防災レクリエーション内容
- ・予測される結果
- ・デメリット
- ・デメリットの対策
- ・まとめ
- ・参考文献

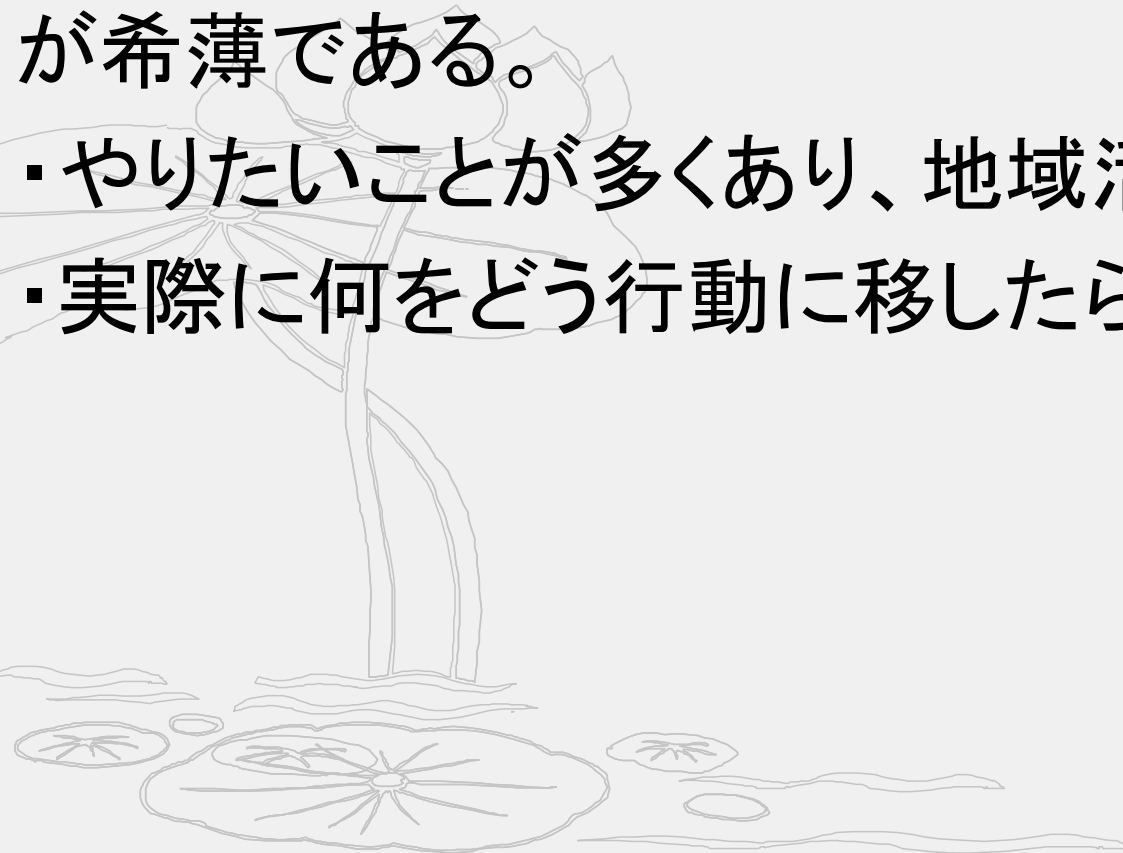
課題

平常時において大学生がどのような
防災活動が行えるか。



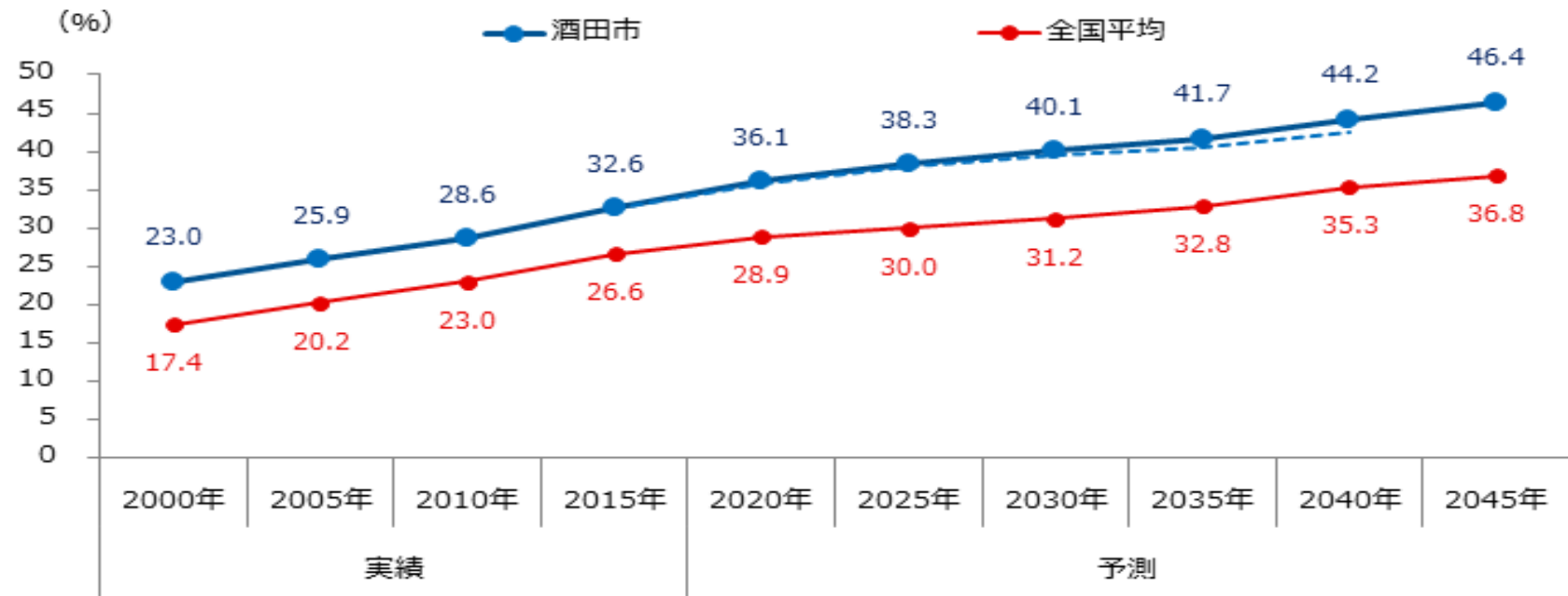
背景(1)

- ・市外からやってきた大学生が多く存在し、地域との関わり合いが希薄である。
- ・やりたいことが多くあり、地域活動をする時間がない。
- ・実際に何をどう行動に移したら良いのか分からない。



背景(2)

酒田市の高齢化率の推移



※高齢化率：総人口にしめる65歳以上の人口割合（％），年齢不詳を除いて算出

※図中の緑の点線は、前回2013年3月公表の「将来人口推計」に基づく当地域の高齢化率

酒田での災害一覧

- ・地震
- ・津波
- ・水害
- ・土砂災害
- ・火山災害



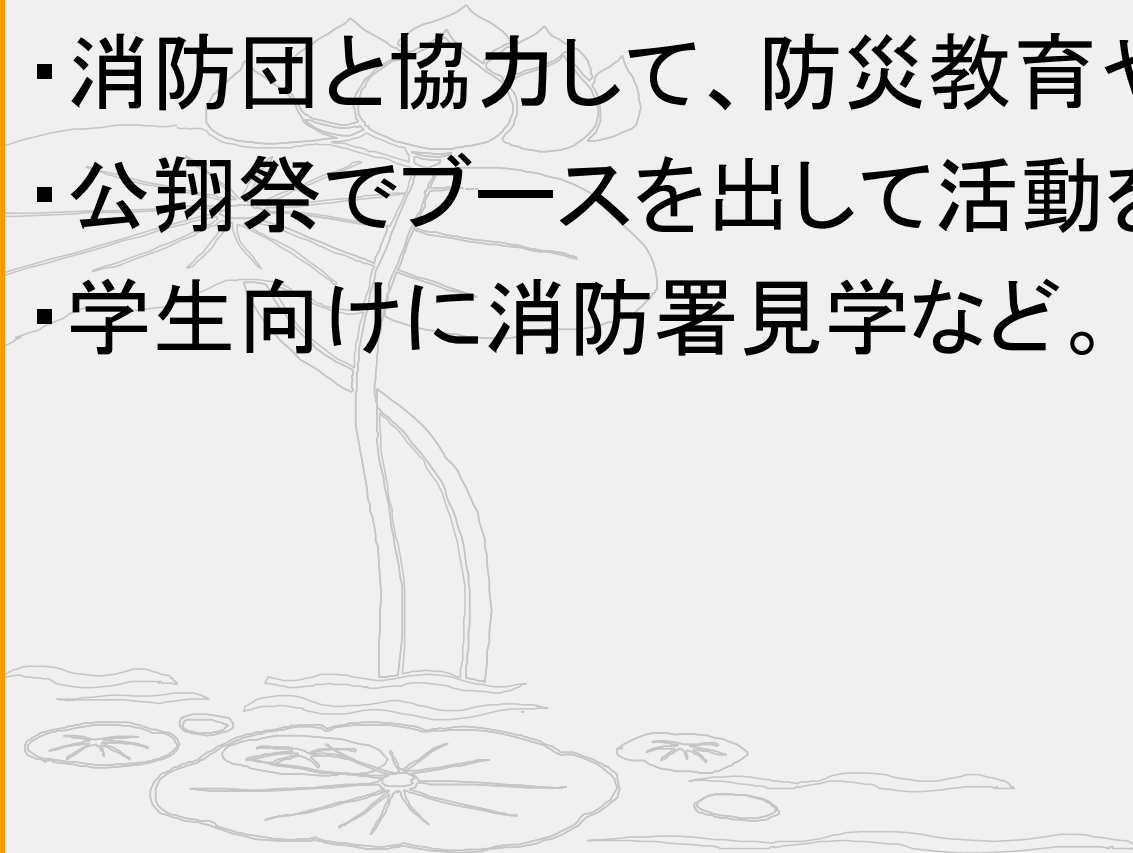
解決策

- ・サークルを作る。



サークル活動について

- ・地域住民と学生で防災レクリエーションを行う。
- ・消防団と協力して、防災教育や地域のパトロールを行う。
- ・公翔祭でブースを出して活動をする。
- ・学生向けに消防署見学など。



防災レクリエーション内容

- ・消防団の方に協力して頂き、地域住民と学生のグループを作り、クイズ形式などで知識を身につける。
- ・防災グッズ・カードゲームセットなどを使う。
- ・グループに分かれ常備品を考え、発表し合う。
- ・非常食を食べてみる。



防災グッズ

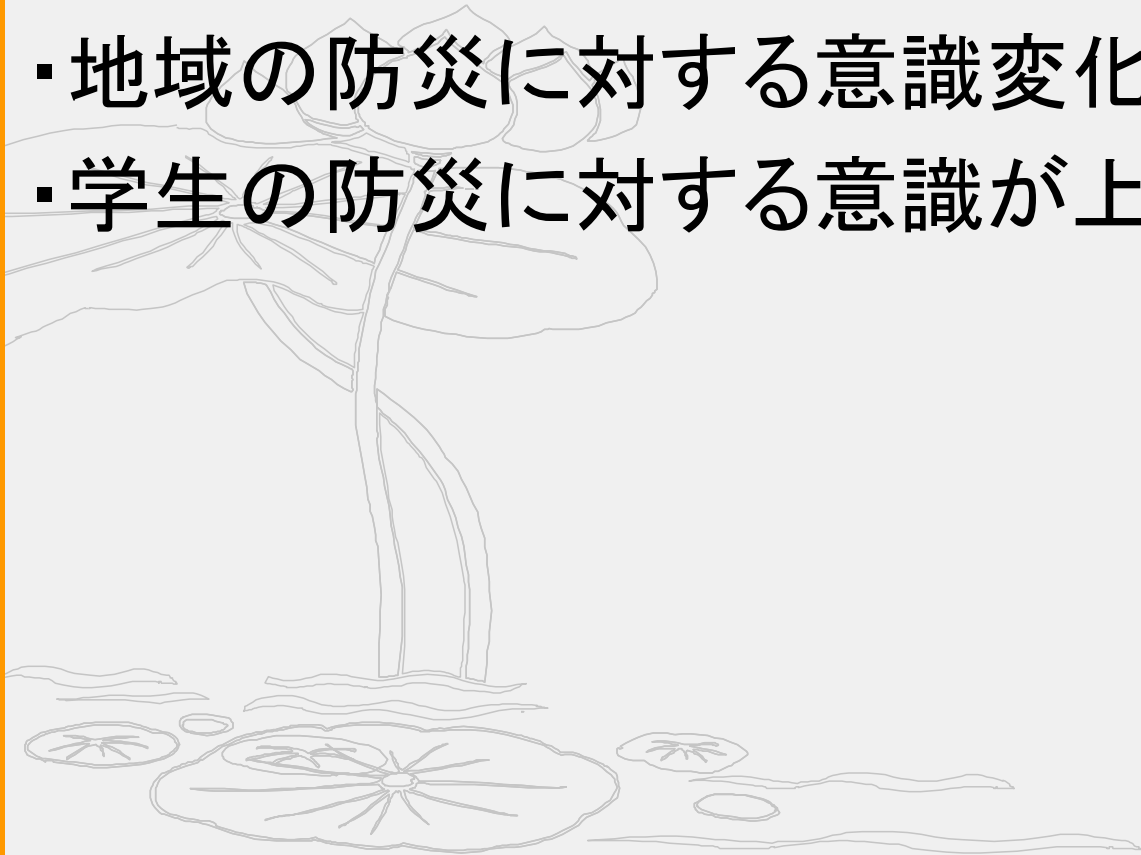


カードゲームセット



予測される結果

- 学生と地域住民の密接な関係が築ける。
- 地域の防災に対する意識変化。
- 学生の防災に対する意識が上がる。



デメリット

- ・サークルが成り立つか分からない。
- ・新型コロナウイルスの影響で人が集まらない。



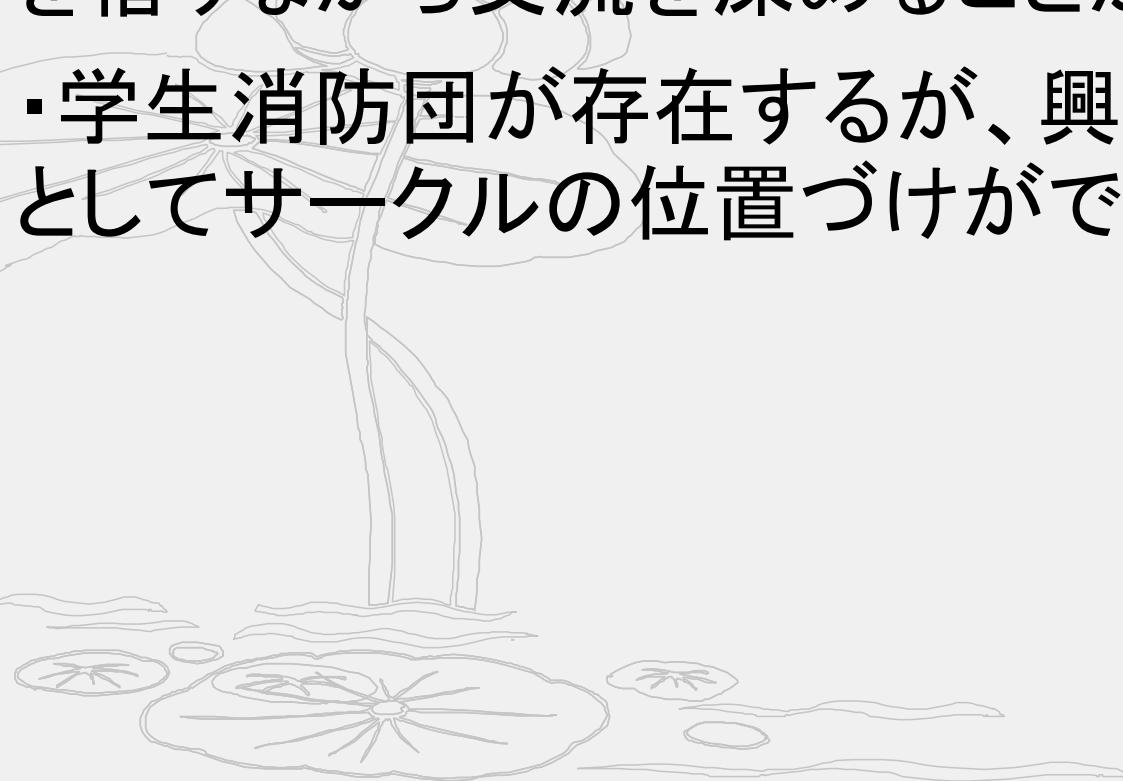
デメリットの対策

- ・SNSでサークルのアカウントを作り、知ってもらう。
- ・サークルに入るメリットを伝える。
- ・活動内容、方針を明確にする。
- ・今すぐには活動出来ないので新型コロナウイルスが収束するまで様子を見る。



まとめ

- ・サークルを作ることによって学生主体となり、地域の方々の力を借りながら交流を深めることができる。
- ・学生消防団が存在するが、興味を持った人が入りやすい組織としてサークルの位置づけができる。



参考文献

- ・“グラフで見る！酒田市の世帯推移”.[\(https://jp.gdfreak.com/public/detail/jp010050000001006204/2\)](https://jp.gdfreak.com/public/detail/jp010050000001006204/2).(2021-7-27)

